

黒木病院だより

しろやま

S H I R O Y A M A

VOL.1 創刊号

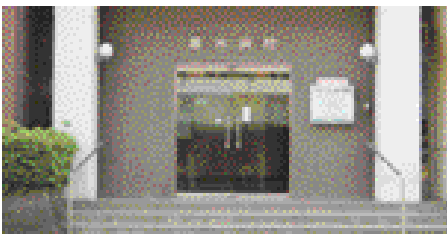
contents



- 理事長あいさつ…………… ①
- 院長あいさつ…………… ②
- 職場紹介—看護部外来係 …… ③
事務部医事係
- 導入機器…………… ④⑤
- ドラッグインフォメーション… ⑥
- 栄養科トピックス…………… ⑦
- 編集後記…………… ⑧



病院全景



正面玄関

昭和33年8月、父済（わたる）が高齢の為、帰延。戦後閉鎖しておりました外科を開設、以来あつという間に44年が過ぎました。

当時は34歳の若さに任せ、早朝より夕方まで外来診療、それから手術室に入り、夜9時ごろ患者様

を起こして回診。夜中に、今日は宇納間、明日は椎葉、次の日は宗太郎峠あたり迄と往診に行ったものです。

昭和40年に第2病棟（旧館）を改築、手術室には九州で2番目という伝導タイルを使用しました。

その後、国内で4台目のレントゲン装置を導入し、今思えば血気盛んな時代でした。しかし如何に立派な建物、医療機器を揃え、医学が進歩しても基本は人と人との繋がりを大切に、患者様の訴えに耳を傾ける事を信念に今日まで生きて参りました。

時代は移り、病院の新築工事も始まりました。五ヶ瀬川のほとり、対岸には城山が見られ、平成15年には、牧野院長を始めとするスタッフ一同力を合わせ、新たな診療が始まる日を楽しみにしている今日この頃です。

平成15年に向けて更なる飛躍を祈念しております。



理事長 黒木 建

地域医療と 新しい時代の 医療を見つめて



院長 牧野 剛緒

当院の理念

健康づくりに勤め、優しさと温かみのある
病院を目指し、地域社会へ貢献する

行動指針

- ① 常に患者の立場に立って物事を考え、最善を尽くす
- ② 感謝の心をもって人に関わり、仕事を通じて自ら成長に努める

当院の歴史を振り返りますと、明治39年4月に土々呂で理事長

黒木建の父黒木濟（わたる）が黒木医院として開業。大正3年5月に現在の祇園町に移転し、大正13年5月に病院（内科、外科、産婦人科、泌尿器科）となり、昭和33年8月に黒木建が帰延し戦後閉鎖していた外科診療を開始しました。

昭和54年9月30日、医療法人健寿会を設立、平成10年には創立93年、外科開設40周年の記念パーティを行いました。その間、安倍明義先生（黒木濟の長女の夫）、栗山勝

先生（次女の夫）など諸先生方のご支援を頂きながら現在があり、

長い歴史を実感しております。

私は、平成4年4月に副院長として勤務し、平成11年10月、黒木建が理事長就任と同時に院長に就任しました。

当院の理念は、

「健康づくりに勤め、優しさと温かみのある病院を目指し、地域社会へ貢献する」です。

平成12年、救急病院の告示（指定）を受け、現在では延岡地区夜

間救急医療体制の外科診療施設としての機能を担い、地域の救急医療にも力を注いでおります。

また、医療技術の充実を図るため、平成12年10月に、最先端医療器械のマルチスライストを宮崎

県北では初めて、宮崎県下でも3番目に導入しました。その他、胃内視鏡、大腸内視鏡、超音波検査を駆使して、消化器疾患を中心とした急性期医療を展開しております。

また今後は従来の診断、治療を中心とした医療から、その前後の段階、即ち日常の健康維持・管理、

あるいは、中高年齢層の健康維持の領域まで含めたトータルヘルス

ケアシステムを構築し、地域住民の健康増進、予防等に幅広く取り組んでいきます。

今年の暮れ頃、病院を祇園町から北小路に新築移転する予定です。今後も地域の皆様から信頼され、愛される施設に、私ども職員一同、より一層の努力を重ね日々精進して参ります。どうぞよろしくお願い申し上げます。



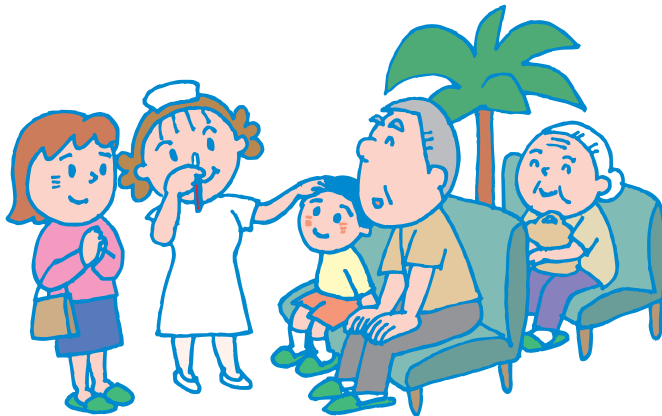
第1回 職場紹介

このコーナーでは、当院で働くスタッフを各部署別に紹介しています。
第1回目の今回は看護部外来係と事務部医事係の紹介です。



こんにちは、看護部外来係です。
私達は、「優しさと思いやり、明るく元気」をモットーに、患者様に安心して検査や治療を受けて頂ける様、毎日頑張っています。
不安な事、お困りの事、お気づきの点がありましたら、遠慮なく私達へ声をかけていただきます様に宜しく申し上げます。

看護部外来係



こんにちは。事務部医事係です。
黒木病院に來られてまず最初に足を運ばれる受付、そこに私達6名が働いております。受付、カルテ出し、会計、それに毎月の保険請求、それが主な業務です。

事務部医事係

私達は、年齢や経験など異なるメンバーの集まりです。お互い痛いところをついたり、思いがけない発言や行動にハツとしたりの毎日です。
失敗して落ち込んだり、自分の未熟さ、ふがいなさに涙することもありますが「笑顔で明るく」をモットーに、力を合わせてレベルアップを目指しております。
月2回の会議では、よりよいサービスを目指し、患者様に満足していただける受付を目指し、努力しております。
どうぞよろしく申し上げます。



導入機器紹介

内視鏡紹介 外来師長 渡辺 明美

現在、消化管検査における内視鏡機器の発達、又、技術の向上には目を見張るものがあります。当院においても最先端の電子スコープを用い詳細な検査と高度治療を行っています。

■検査／胃内視鏡（月曜日～土曜日）／大腸内視鏡（月曜日～金曜日）〈予約制〉



胃・大腸内視鏡

・上部消化管は、食道、胃、十二指腸を、下部消化管はファイバーを肛門より挿入し大腸を直接観察します。電子ファイバーを使用し、高品質な画像でテレビに映し出し、詳細に観察できるので、病気を初期の段階で見ることができます。胃力メラの直径は1cm弱と細く、飲みやすくなっています。



十二指腸内視鏡

・十二指腸ファイバーを使用し臍管や胆管に造影剤を注入して、臍管や胆のう、胆管の病気を診断したり治療をしたりします。治療には黄疸の軽減や、総胆管結石があった場合、結石を採ることができます。



超音波自動内視鏡洗浄器

・超音波自動内視鏡洗浄器を使用し、内視鏡や器具類（鉗子など）を超音波で、すみずみまで洗浄、消毒し、感染防止に努めています。

放射線機器紹介

マルチスライスCTスキャナー

診療放射線技師長 寺崎 長幸

従来のCT装置より短い時間で広範囲の検査が苦痛なくできます。

全身の様々な三次元画像が鮮明に撮れ、被爆線量の低減に直結しています。

☆県北には現時点においては当院だけに設置されています。

☆患者様の心を優しく包み込む、圧迫感のない機器を導入致しました。

特徴

■超高速0・75秒スキャン

従来のCT検査に比べ3〜8倍の高速で撮影可能

■先進の固体検出器

薄いスライスの画質向上、必要最小限のX線量

■画像再構成の高速化

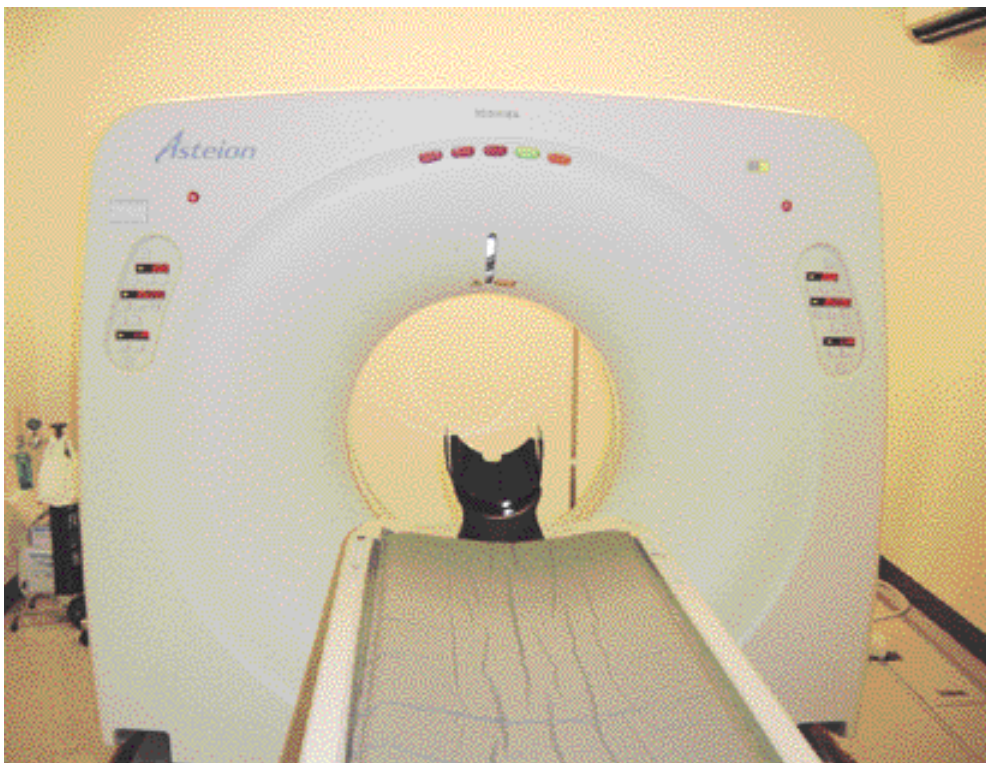
短い検査時間

■三次元画像処理

立体的で見やすい画像として再現

■72cmの大口径

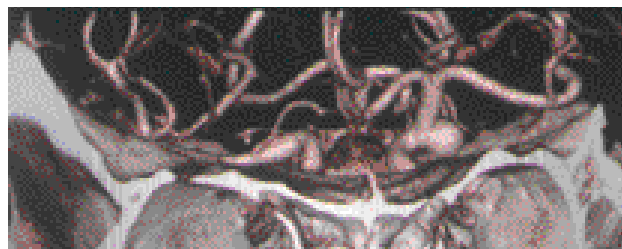
体型の大きな方でもリラックスして検査が受けられます。



マルチスライスCTスキャナー



胆のう



脳動脈瘤



脳動静脈奇形

ドラッグインフォメーション 第1回

DRUG INFORMATION

薬局長 後藤 典子

薬は何のために飲むのでしょうか。薬はケガや病気そのものを治療したり、症状を和らげたりするために使われます。薬はほとんど全てのものが体には本来ないもので、しかも大量に体に入ってくるものですから、決められた方法に従って正しく飲み、使われなくてはなりません。勝手な飲み方や使い方をすれば、副作用、特に有害な作用や中毒を招きやすいのです。

薬の飲み方、使い方は人により、または状態により違います。薬は正しい飲み方、使い方をすることによって、最大の薬効を私達にもたらしますが、いい加減な飲み方や間違った飲み方などでは、薬の効果は発揮されず、かえって薬は毒になりうることもあるのです。

医師が患者様の症状にあった薬を処方し、薬剤師が調剤して患者様に使い方を説明します。わからない点があれば、何でも医師や薬剤師に聞いて下さい。

薬の使用目的いろいろ どんな時に薬を使うのかな？

その1 病気の原因を取りのぞくため



その2 不快な症状を取りのぞくため



たとえば、かぜをひいた時のかぜ薬は一時的に駆虫や不快な症状をやわらげてよくねむれるように、ごはんを食べられるようにして、病気をなおす力を助けているのです。体の熱は病気とたたかっているのですから、熱のある時は水分をよくとって安静にしましょう。
症状のひどいときは、お医者さんや薬局に相談して下さい。

その3 病気を予防するため

結核・インフルエンザ・日本脳炎などの病気にかからないように、予防接種の注射などをします。

しかし、一番の予防は病気に打ち勝つ「元気な体」をつくること。「うがい」や「手洗い」をすることも大切な予防です。



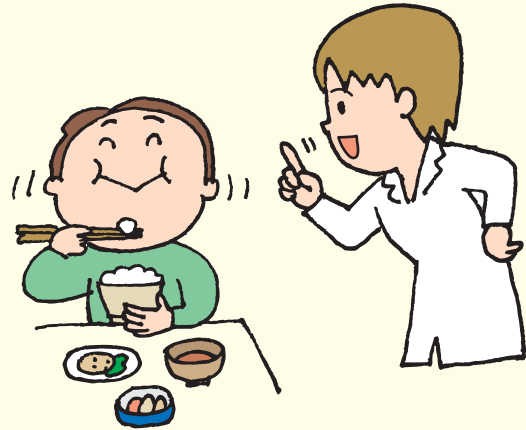
薬は「指示のとおり」量や時間を守り、正しく使いましょう。外用薬のぬり薬も量や回数を守らないと副作用がでます。

栄養科トピックス

第1回

バランスのとれた食事をお摂りでしょうか？

栄養科 管理栄養士 矢野 さとみ



忙しいにかまけて偏った食事や、無茶な食べ方を繰り返しては、生活習慣病になる恐れがそれだけで大きくなります。生活習慣病は初期には殆ど自覚症状がありません。好ましくない食生活習慣の影響は、5年後、10年後に病気になるて現れます。



現在、食生活を中心とした健康づくりへの関心が高まりをみせているなかで、高血圧や肥満、糖尿病をはじめとする生活習慣病も増加の一途をたどっています。適切に食事を摂り、生活習慣病を改善すると同時に、食事の内容も改善することが大切です。

食生活改善のための8つのポイント

- ① エネルギー源は適量をしっかりとる
- ② 蛋白質・脂質は魚と大豆製品
- ③ 食べ過ぎない
- ④ 野菜を十分、果物も定期的にとる
- ⑤ 一時的禁酒もよい選択肢
- ⑥ 揚げ物、炒め物は合わせて週4日くらい
- ⑦ お菓子は意外に高カロリー
- ⑧ 食べ物が多き時は残す



まだ健康である今こそ、普段の食生活習慣を見直すいいチャンスなのです！
当院では栄養士が食事療法についてのご相談を承っております。
ご希望の方は、お気軽にご相談ください。

「投書箱」 設置のお知らせ

当院では「投書箱」を設置しております。当院に対する患者様からのご意見、ご感想がございましたら、どんな小さな事でもかまいませんので、どしどしお寄せください。
ご意見、ご質問に対する回答・改善点については、広報誌でもご紹介してまいります。

設置場所

- 正面玄関入口横
- 1病棟2階（テレビ室）
- 3階（テレビ室）
- 4階エレベーター前
- 2病棟2階職員食堂前



今回第1号の広報誌発刊にともない、昨年末に広報誌のネーミング募集を院内で行いました。投票の結果、外来師長の渡辺明美さんと、一病棟看護師、上杉美由紀さんの「しろやま」に決定しました。

広報誌ネーミング

「しろやま」に決定

岡を代表する病院を目指す様に、願いも込めてつけました。」とネーミングの理由について語ってくださいました。広報誌「しろやま」では、この願いのとおり院内スタッフと地域の患者様との心のふれあいを大切に、地域の皆様に愛される広報誌をめざしていきたいと思っております。

編集後記

水面に若鮎おどる季節となりました。皆様いかにお過ごしでしょうか。

黒木病院もいよいよ第一回目の広報誌を発売させて頂くことになりました。これから院内での情報や各種サービス等の紹介を、年4回の発行をもとに、可能な限り行っていきたいと思っております。

今回、5月下旬をめどに発行準備に取りかかってまいりました。初めてのことでなかなか思うように行かなかつたのが現状ですが、中身は話題豊富にと考えております。是非、御意見・御要望等ございましたらお聞かせ下さい。

これから皆様に楽しく読んで頂けるよう、私たち広報委員一同頑張っていきたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。

広報委員会



広報委員会メンバー

菜	看	栄	事	医療法人	発行日	発行所住所	発行責任者
局	護	養	務	健寿会	2002年5月25日	黒木病院	牧野剛緒
後藤典子	渡辺明美	小野マサ子	矢野さとみ	黒木病院			
			尾信一郎				

外科・消化器科・内科・泌尿器科・肛門科・放射線科

医療法人 健寿会

救急指定

黒木病院

〒882-0043 宮崎県延岡市祇園町2丁目3番地10
TEL (0982) 21-6381 FAX (0982) 33-8380

診療時間 / 8:30~12:30 14:00~17:30

但し土曜日は8:30~12:30

但し、急患の場合はこの限りではありません。

